



# 令和7年度 自己評価・学校関係者評価

令和8年2月24日

1 建学の精神 「敬・実・和」 まごころをもって 他の人を敬愛し 和をはかる

## 2 教育目標

「仲良く・正しく・強く・朗らか」な人間性豊かな幼児を育てる

- たくましく 心身共に健康で、元気な明るい子ども
- かしこく よく見、よく聞き、よく考える子ども
- だれとでもなかよく みんなとなかよく、のびのびと遊ぶ子ども
- まっすぐなところで きまりを守り、進んでよいことをする子ども



## 3 本年度重点的に取り組む目標・計画

### 笑顔いっぱい たかだま幼稚園 ～子どもの笑顔を真ん中に～



子どもたちの笑顔いっぱいの幼稚園にするために

- ①家庭と力を合わせ短大と連携して
- ②伸び伸びとした自由保育を中心に
- ③園児一人ひとりみんなを大切にしたい質の高い教育を実践します。

## 4 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	笑顔を創る教育・保育の 実践  ◇関連プロジェクト項目： 1・4・5・11	A	① 幼稚園として昨年度まで培ってきた本園の特色である子どもの自発的な遊びを中心としたのびのび保育を継承し、認定こども園としての日々の保育実践に努めてきた。 ② 天童市の幼保小連携教育研究会の会場園として保育を公開し、主催した天童市教育委員会や参観した幼稚園、保育園、こども園、小学校の先生方より、子どもたちののびのびとした遊びや年齢を超えた異年齢児間の自然な交流など、子どもたちの姿、保育について高く評価していただいた。 ③ 毎日の職員ミーティングで、それぞれの学年の保育や子どもの遊びについての分かち合いの話し合いを継続して行ってきた。互いの保育実践が参考になり、新しい視点やアイデアが得られるなど、学び合い、刺激し合いしながら実践を深めることができた。遊びの様子を分かち合うことで、異学年の遊びが合体し発展して、遊びを通じた子どもたちの交流が広がる場面も数多く見ることができた。 ④ 羽陽学園短期大学との連携により、多種にわたり園児に豊かで意義ある活動を経験させることができた。

			<p>⑤ 系列校である山形調理師専門学校栄養士による食育講座や児童市健康課の栄養士による食育講座、かもしかクラブの活動、佐川急便による交通安全教室、年中児へのリゴラサッカー教室など、子どもたちに有意義な活動を体験させることができた。</p> <p>⑥ 音楽教室発表会をゴールに音楽や楽器に親しむ活動である年長学年の音楽教室を継続して行い、子どもたちに満足度の高い活動となっている。</p>
2	<p>笑顔を真ん中にした 連携と協力</p> <p>◇関連アット項目： 2・3・6・7・8・9・12</p>	A	<p>① 幼稚園時代と同様に各家庭との温かい関係性の中で子どもたちの教育にあたるように努めてきた。各家庭からの厚いご協力により子どもたちの笑顔のために力を合わせることができたと考える。</p> <p>② 新園舎の地の利によりこれまで以上に羽陽短大との関係性を深めて、相互に協力しながら連携することができた。その連携の賜物として、短大より今年度も様々な便宜を図っていただきながら以下のような活動を園児に提供することができた。</p> <p>1) フィンガーボディーペインティングにつながる造形活動 *造形遊び(花田先生・城山先生・短大生) 年少・年中・年長 *土粘土遊び(花田先生・城山先生・短大生) 年中 *フィンガーボディーペインティング (花田先生・城山先生・短大生) 年中・年長</p> <p>2) 水鉄砲遊び(高桑先生・短大生) 満三・年少・年中・年長</p> <p>3) 運動遊び(小田先生・短大生) 年長・年中</p> <p>4) 短大生と遊ぼう(渡辺聡先生・短大生) 年長</p> <p>5) 荒明ゼミ預かり保育お手伝い(荒明先生・短大生) 預かり保育</p> <p>6) 園児理解研修会(年3回)(渡辺聡先生) 職員</p> <p>7) 短大講堂での遊戯会</p> <p>③ 3年連続で今年度も高揃小学校1年生と年長園児の交流を持つことができた。年長学年園児にとっては刺激を受け、小学校への垣根を低くする有意義な幼・小接続の交流活動となった。</p>
3	<p>笑顔を支える環境づくり</p> <p>◇関連アット項目： 5・6・10・11</p>	A	<p>① 羽陽短大と羽陽の里に抱かれる形で建てられた新園舎の立地は、たくさんの温かい目に見守れながら園児が園生活を送ることのできるとても良い環境となっている。また、園舎が新しくなったことで、園児の園生活における快適性が大幅に向上した。</p> <p>② 職員ミーティングで各学年の子ども遊びについての分かち合いを行ったことで、子どもたちの遊びが深く広がるための環境設定への工夫が促進された。</p> <p>③ 旧園舎の解体工事のため12月から使用できなくなっているが、自然豊かな広い園庭は、冒険あり、発見あり、のびのびと思いきり遊ぶことのできる子どもたちの大好きな活動の場となっている。</p> <p>④ 羽陽短大の渡辺聡教授をスーパーバイザーに迎え、年3回の園児理解研修会を行った。専門的な見地からのよりよい園児への対応を</p>

		<p>全職員で学び、園児理解を深め実践に活かすことができた。</p> <p>⑤ 今年度も全職員が外部研修を複数回受講できるよう計画し、「職員こそがよき環境」であるためのスキルアップ研修に努めた。</p>
--	--	---

評価（A：十分に成果あり B：成果あり C：あまり成果なし D：成果なし）

## 5 総合的な評価結果

評価	理由
A	<p>① 「園評価のためのアンケート」の高評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート、職員アンケートともに、9項目で肯定的な回答100%の高い評価いただくなど、全ての項目で肯定的な回答が大多数であった。</li> <li>保護者アンケートの「子どもの笑顔を育てる幼稚園になっているか」の項目に、99%の保護者のみなさんが「あてはまる」（「ややあてはまる」1%）と回答してくださった。重点目標である「笑顔いっぱい！たかだま幼稚園！」への取り組みが保護者のみなさんより評価していただいたものとする。</li> </ul> <p>② 天童市幼保小連携研修会での好意的評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育を公開した天童市幼保小連携研修会で、子どもたちの主体的な遊びや自然な異年齢交流など、子どもたちの姿を通じた保育への取り組みや小学校との連携について、参観した幼保小の先生方より好意的な意見をいただくことができた。</li> </ul> <p>③ 家庭、他施設との温かな強い連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートの意見・要望欄に、勇気づけられる温かなコメントを多数いただくことができ、認定こども園となっても保護者のみなさんとの温かい関係性の下、信頼関係を強くして保育にあたることのできたものとする。</li> <li>新園舎の立地が絶妙で、羽陽短大、羽陽の里からの好影響、恩恵を享受することができた。特に羽陽短大とは昨年度まで以上に様々な点で連携し合うことができ、園児に様々な豊かな経験をさせることができた。</li> <li>小学校への滑らかな接続を目指して継続してきた高掬小学校との連携を今年度も継続して実践することができた。</li> </ul> <p>④ 新旧の環境を活かした園生活の快適性の向上と園児の遊びの広がり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園舎が新しくなったことにより、園生活の快適性が格段に向上した。</li> <li>新園舎になった新しい環境、旧来から利用してきた広い園庭など、新旧の環境をフルに活用して、異年齢児の交流なども含め、園児の自発的な遊びを深め広げることができた。</li> </ul>

評価（A：十分に成果あり B：成果あり C：あまり成果なし D：成果なし）

## 6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育・保育の充実	<p>のびのびとした気風の教育・保育を継続し追求・実践すること</p> <p>① 「遊びの入り口」となる「好奇心」、「遊び込む」プロセスの中での「試行錯誤」、「遊びきる」ことによる「達成感」を大切にしたいのびのびとした遊びを中心とした教育・保育の実践。</p> <p>② 子どもたちの取り組みを勇気づける「温かい保育」。</p>

		③ 羽陽学園短期大学との強固な連携による教育・保育の充実。
2	安全で温かい教育・保育環境の整備と充実	<p>安心して任せられる教育・保育の環境をつくること</p> <p>① 子どもたちの自発的な遊びが促進され深まる教育・保育の環境作り。</p> <p>② 安心で安全な保育環境の整備。</p> <p>③ 職員こそが子どもたちにとって最高の環境であるための研修と実践。</p> <p>④ 家庭との温かい関係性の中で子どもたちの教育・保育にあたる関係作り。</p>
3	小学校との連携の推進	<p>小学校への滑らかな接続を目指した高揃小学校との連携を継続、推進すること</p> <p>① 年長学年と小学校1年生の交流活動の継続実践</p> <p>② 架け橋カリキュラムの実態に即した更新と無理なく実のある連携の継続</p>

## 7 学校関係者評価委員の評価

◇評価者 花田嘉雄 評価委員（羽陽学園短期大学教授）

### ① 評価できる点

- 笑顔いっぱいたかだま幼稚園～子どもの笑顔を真ん中に～という目標の通り、自由保育を中心に子ども主体の伸び伸びとした教育を実践されている点が高く評価できます。今年度から認定こども園になり、日差しの明るい新しい環境の中で子どもたちが毎日生き生きと過ごしている様子が窺われます。園庭で遊んでいる時や散歩時には、短大生や教職員にも挨拶をしてくれます。子ども達の元気で朗らかな声に励まされて、短大も明るくなったような気がします。例年、造形教室等で関わらせていただいておりますが、令和7年度も前向きに活動に取り組む子どもの姿や積極的に自分の思いを発言する子どもの姿がたくさん見られました。自主性が育っており、「園児一人ひとりみんなを大切にした質の高い教育」が実践されていることが窺われます。また、「伸び伸びとした自由保育を中心に」した取組みを通して、子どもの自己充実感や探求心が育まれていると感じます。
- 保護者アンケートでは、子どもの満足度や子どもに対する責任感、子どもの笑顔を真ん中にした家庭との連携や悩み相談に関する項目が非常に高く、評価できます。保護者から寄せられた多数の声からも窺われますが、担任だけでなく園の全先生方と保護者との間に子どもを中心とした温かい信頼関係が築かれており、非常に素晴らしいと思います。職員アンケートでもこれらの項目がほぼ満点であり、一人一人の先生方が最高の人的環境として責任感と愛情をもって子どもと関わり、「家庭と力を合わせ」た教育を行っていることが窺われます。また、職員アンケートの方が保護者アンケートより厳しめの評価になっており、問題意識をもって仕事に臨んでいることが窺われます。

### ② 改善が必要と思われる点

- PTA 役員選出や行事、その他の要望に対して丁寧に検討し、玄関の施錠など可能な範囲で対応されていますので、今後も保護者からの声を大切に負担のない範囲で改善していただけたらと思います。

### ③ その他

- 実習では経験の少ない学生を多数受け入れてご指導していただいております。大変感謝しております。先生方の優しく丁寧なご指導と素直で朗らかな子ども達のおかげで、成長を実感することができ、充実した実習になっております。また、本学との連携の幅も年々広がっており、学生にとってとても貴重な体験をさせていただいております。今後ともよろしく願いいたします。

- ・令和7年度は認定こども園として様々な環境が新しくなり、新鮮さと同時に手探りの年であったと思いますが、アンケート結果が大変好評であったのは、職員の皆様の取り組みのおかげだと思います。皆様のご健康のもと、ますます笑顔いっぱいのたかだま幼稚園になるようお祈り申し上げます。

◇評価者 加藤 誠 評価委員（たかだま幼稚園 PTA 会長）

今年度から幼保連携型認定こども園へ移行したことで先生方も新しい環境の中、試行錯誤の一年だったと思います。そんな中、【笑顔いっぱいのたかだま幼稚園】の目標に向けて先生方が温かい保育をしてくださったことに感謝しております。

保護者アンケート内でも、子供たちが楽しんで園生活を送っていることが感じられる回答となっており、先生方が園児一人ひとりを大切にしてくださっていることが伝わってきます。

改善のための意見・要望についてはしっかりと対策を検討していただき、保護者との対話をしながら可能な範囲で対応していただけたらと思います。

今年度も丹野園長をはじめ、先生方のおかげで、子供たちが毎日楽しそうに園で遊び、色々なことを学んでいる姿を間近で見ることができうれしく思っております。来年度も、子供の笑顔を中心にした笑顔いっぱいのたかだま幼稚園となるよう、願っております。

◇評価者 沼澤俊次 評価委員（たかだま幼稚園 PTA 副会長）

今年度も保護者アンケートでは、先生方への感謝の声や温かいご意見、高い評価が多く見られました。今年から0・1歳のクラスもあり、昨年度よりも大変な事が増えたと思います。子供の迎えに行った時も、どの先生も明るく元気で1日の出来事も話してくれます。

要望を見ますと、お泊り保育やお母さん弁当の復活が多数ありますが、先生方の無理のない範囲で検討していただけたらと思います。

職員の皆様のご健康のもと、ますます笑顔いっぱいのたかだま幼稚園になるようお祈り申し上げます。

◇評価者 新保飛揚真 評価委員（たかだま幼稚園 PTA 副会長）

認定こども園となり、先生方をはじめ保護者、園児のみなさんも、色々な変化があった一年だったと思います。

資料を拝見し、今後の園生活のために真剣に考えてくれている方がたくさんいると感じました。園生活では、家庭ではできない体験や友達とのかかわりを経験することができ、子供の成長を感じる事ができて大変うれしく思っています。これも、先生方が園児たちのために一生懸命活動してくれているおかげであり、心から感謝しております。様々な意見があると思いますが、これからのたかだま幼稚園での生活が、園児、保護者、先生にとって、笑顔あふれるものになることを願っております。